

### 意見交換会の概要

【参加者】平成30年度主要な事業の中の道の駅整備推進事業について、覚書の作成、設置管理条例の作成等はプロセスを組んで市の所管課で行ったかどうか。

プロポーザルを行わなくてよいものについては、行わないなど予算特別委員会でもう少し協議してもらいたい。

【委員】道の駅についても近年さまざまな手法がある。また、地域ブランドの創生ということでも本市から見た価値観と標的とする相手から見た価値観では違いがある。そのようなことを精査する事業を職員に行わせてよいのかという問題もあり、経験値がある所に任せてはとのことでプロポーザルという手法がある。市では、時間や費用などを踏まえた中でどの手法を選択するかを考え、プロポーザルの方が有効と判断した場合、プロポーザルを選択している。職員に行わせるというのも1つの考えとして真摯に受け止める。

【参加者】平成30年度主要な事業の中の茅ヶ崎市民文化会館再整備事業について、予算が30億円強計上されている中で、実際の工事概要の看板をみると工事金額47億880万円と市民に公表されている。市民の目線で考えると追加の費用が予算の50%を上回る金額となった時、再度業者と協議し、予算になるべく近い金額に落ち着くというのが基本である。その点について、議会ではどのように考えているのか。また、市民が誤解を招かないような工夫をしてもらいたい。

【委員】看板に掲示されているのは、総事業費で、平成27年から平成30年までの事業となっているので、その事業費が約50億円で、議会だよりに掲載されているのは本年度の予算である。

【委員】市は単年度で計上するので、総事業費と見比べると誤解を招きやすい。別途費用がかかる場合、その補正予算を議会でも審議している。意見は真摯に受け止め、掲示の方法についても検討するよう議会としても対応していく。

【参加者】漁港に出入りし事件もあったが、市民が安全に海岸を利用できるようにしてほしい。下水の配管溝でも事件があった。議会としても状況を踏まえ深掘りしてほしい。下水道でも南湖で水が出てしまっている。そのことを踏まえ、財政面も考慮しなければいけないが整備してほしい。また、整備計画も作り直す必要があるのではないかな。

議会基本条例に則って、身近な地方議員に何を期待するかというタウンニュースを見てどう思ったか。

【委員】タウンニュースに掲載された記事について、この場でコメントを出すことはできない。

【委員】議会基本条例については、今年度見直しを行う予定である。議会に設置されている議会改革検討会で、議会基本条例が十分に施行されているか、見直す必要があるかなどを議論し、また、市民から意見を聞きながら検証を行っていく。それに関心を持っていただき、意見を頂きたい。

【委員】数ある漁港の中で立ち入りができるのは茅ヶ崎漁港くらいである。漁港については、さまざま問題があったが、ここで大きなフェンスを作り対応した。

水路については、柵を作り対応をしているが、それだけでは充分ではない。学校での立ち入りについての指導が市域に根ざした教育として必要となってくる。ハードとソフトの両面で啓発をしていく。

【参加者】国会でも憲法についてさまざま議論があるが、市議会議員が発起となって公の施設などで勉強会を開催してもらえないか。

【委員】憲法の議論をこれから進めていくべきということを本市議会でも決議を出している。国民的議論が必要とのことで、さまざまな所で話題となっているが、公共施設によっては政治の問題を取り上げられない所もある。そのため、全ての施設で行うことは難しいが、民間の施設では頻繁に行ったりと勉強会を全く行っていないというわけではない。

【参加者】茅ヶ崎市のいじめ問題の録音データの取扱いについて、第三者委員会に提出すべき資料15枚のうち、12枚が未提出となっている。未提出の理由については、口頭で説明したからとのことである。真実を知りたい保護者に不信感を持たせてしまうのは当然である。口頭で説明したといっても録音データを聞かなければ確認できない。茅ヶ崎市の場合、議事録の改ざんとか削除というのは、いくらでも実例がある。また、茅ヶ崎市の場合、条例とかで録音データを公文書としていない。そのため、情報公開で録音データを確認したくてもできない。録音データを公文書として取り扱わない条例にしたままとしているのは、県内では、平塚市、茅ヶ崎市、小田原市、伊勢原市、海老名市などであり、時代遅れである。

放置したいのならば、そのままだでもよいが、放置した責任は議会にあるので、議会としての考えを伺いたい。

【委員】情報公開といっても個人の情報に関することについては公表されない。議事録についても、データのおこし等、さまざまあるので、そういったシステムの見直しは必要となってくる。録音データを公文書としている市については、そういったシステムを精査した上で認めている。市議会でも改善に向け、調査研究していく。

【参加者】働き方改革で、残業手当はなしということやっているが、それが過労につながるのではないかという懸念がある。教員も同様で、約4%残業があると見込んで4%の手当を出して、後はいくら残業しても残業代はつかない。手当がつかない早朝の業務や17時から19時までの2時間サービス残業など勤務実態は杜撰なもので

報告も正しいものとは限らない。議会として、そのような実態を放置しておくのか。

【委員】実態の把握はしているが、任命権者が県であるので、市教員に言っても難しい。変えるならば、県会議員に言っていく必要がある。市民も状況を認識しているということで議会も対応していく。

【参加者】柳島スポーツ公園について、素晴らしいバス停もあるので、神奈川中央交通のバスやコミュニティバスなどが走行できるように提起してほしい。

【委員】意見として承る。

【参加者】茅ヶ崎市は観光客が少ない。茅ヶ崎映画祭といった手作りのポスターなどの配架は少なく、情報が少ない。広報場にポスターなどを貼るなど、イベントを行う者へのサポートをしてほしい。

【委員】本市は協働自治に力を入れて協力もしているので、市に相談して行うのも1つの方法である。広報場への掲示についても申請をし、許可がおりれば、掲示することもできる。市に相談し、行っていくと幅も広がりやすくなる。

【参加者】市から一定の補助金をもらうこともできるが、黒字にははいけない。そうすると活動範囲が狭くなる。来年のことも含めてバックアップをしてもらいたい。イベントを行う方は、経営の時間を削ってまで作業をしている。そのような方への支援も検討してほしい。

【委員】意見として承る。

【参加者】茅ヶ崎市には3つの施設とつばさの家という自立支援の施設があり、異色である。神戸市では、公務員を里親にしようという動きがある。茅ヶ崎市でも、議員や職員に研修を行い、最終的に里親になることを検討してほしい。

【委員】意見として承る。

【参加者】保健所など県からの委託業務について、広報が足りなかったり、不慣れな点もあったり気になるが、それなら県から受けなければよかったのではないか。

【委員】受けた以上、やめるわけにはいかなく、サービスの向上について今後考えていく。